

MITO COMMERCIAL HIGH SCHOOL

発行所
茨城県立水戸商業高等学校
PTA奨学会
〒310-0036 茨城県水戸市新莊3-7-2
TEL 029-224-4402 (4403)
FAX 029-225-4376
E-mail:ac-koho@mito-ch.ed.jp

発行人
会長 八島 進也
編集 渉外部広報係



卒業される水商生へ
PTA奨学会会長 八島進也

水戸商業高等学校PTA奨学会の会員の皆様におかれましては、日頃より本会の活動にご支援、ご協力としてご理解を頂き誠にありがとうございます。

創立120年以上の伝統を持つ水戸商業の校訓は「至誠一生を貫き、勤勉事に当り、敬愛物に接し、剛毅百難を排し、協同其美を濟す」です。この校訓の意味は「精一杯学業に励み、常に誠実に生き、あらゆる物に敬意を払い、ひるまず困難を乗り越え、共に事にあたつて成し遂げよ」です。卒業生の皆さんにおかれましては、知らず知らずのうちに本校の校訓をその身に刻み成長してきました。そして、卒業後さらに専門的な知識を得るために大学や専門学校等に進学をする生徒、本校で学んだ知識を生かし社会人の一員として就職する生徒等様々です。

現代社会は、多様化する社会のニーズに対応できる人材を求めています。この多様化する社会で活躍を期待される若者に対し事あるごとに伝えられていることがあります。それは、「失敗や挫折は恐れるにたりない」ということです。チャンスは積極的に自らの手で奪いに行ってください。もしも、皆さんの積極的な行動の先に失敗や挫折があったら



距離が縮んだと実感しています。私としては、今後、さらなる活動を通じて本校のPTA活動が在校生、教職員そして地域社会と一体となり活動できればと思っています。私は三姉妹の末っ子が今年度本

小さな行動の積み重ねが、目標到達への唯一の道

校長 岡野 敏昌

PTA奨学会の皆様には、平素より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。本年度を振り返りますと、生徒たちは学校生活の様々な場面において大きく成長できた一年であったと感じております。

七月の高校野球応援では、熱中症の予防に配慮しつつも水商が一つとなり、選手に力強い声援を送りました。リモートとスタンドに分かれての応援ではありましたが、学校全体に大きな一体感が生まれ、水商生の心に深く刻まれる貴重な経験となりました。

十月のクラスマッチでは、雨天による二日目競技の翌日順延という状況下でも生徒たちは臨機応変に準備を進め、互いに励まし合いながら競技に臨みました。全力で取り組み姿、仲間を応援する姿がクラスの結束をより一層強める結果となりました。

十二月の水商祭では、生徒会・運営委員会・実行委員会が中心となり、生徒主体で運

校を卒業するため、心半ばではPTA活動から離れなければなりません。本校の保護者にも本校の伝統が受け継がれることを期待しています。

最後に、卒業生の皆さんが、本校のスローガンである「世界を駆ける碧く燃える水商魂」を忘れることなく、今後進んでいく先にあるそれぞれの世界で活躍されることを心よりお祈り申し上げます。

菅が行われ、準備段階から一つ一つ課題を乗り越え、大きな成果を上げることができました。この水商祭の成功には、PTAの皆様のご協力と温かなご支援があったことを、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

進路実現に向けては、就職試験や進学試験を控えた三年生が、何度も面接練習を重ねる姿が見られました。練習と改善を積み重ねることで、自分の考えを自分の言葉で伝えられるようになり、その努力が自信と成果へとつながりました。

また、資格取得においても、生徒自ら目標を設定し、地道に努力を重ねる姿が多く見られました。その結果、合格という確かな成果を手にした者もおり、挑戦を通じて得た経験は、将来に向けた大きな自信となることでしょう。

こうした一年間の水商生の歩みを振り返ると、ある言葉が思い起こされます。生徒会誌『翠松』にも掲載しましたが、メジャーリーグで数々の偉業を成し遂げたイチロー選手が、シーズン最多安打記録を更新した際のインタビューで、「小さなことを一つ一つ積み上げることが、偉大な記録を成し遂げるための唯一の方法である」と語ったことです。水商生もまた、日々の努力と挑戦を積み重ねることで、確かな変化と成長を積み上げてきました。

卒業を迎える皆さんには、水商での三年間、一步一步積み重ねてきた努力に自信を持ち、それぞれの進む道で自分らしい力を存分に発揮してほしいと願っております。学校生活で培った経験は、これからの人生における確かな土台となるはずですよ。

今後も、家庭・地域・学校が連携しながら、生徒一人一人の小さな努力と行動の積み重ねを大切に支えてまいります。PTA奨学会の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

私も、若い皆さんであればやり直せます。もし、困難が立ちほだかり先が見えなくなつたときは、水戸商業高校で3年間苦楽をともにした級友、教職員の方々、そして、いつも一番身近なところで見守ってくれていた保護者がいます。卒業生の皆さんは、それぞれの道へ進むことになりませんが、一人ではないことを忘れずに、本校の卒業生であることを誇りに活躍することを期待しています。

水戸商業高等学校PTA奨学会の活動もコロナ禍を乗り越え、活動の場が広がってきました。水戸地区PTA総会をはじめ、今年度は三重県で行われた全国大会への参加です。もちろん、これからの総会等に参加し自県や他都道府県の高校で行われているPTA活動について情報共有し、本校のPTA活動に活かしていくことも重要な活動の一つです。

私がPTA会長となり力を入れてきたPTA活動は生徒との距離を縮めることです。昨年度から水戸商業高等学校PTA奨学会も水商祭に模擬店を出店し、在校生と交流する機会を得ています。今年度2年目となり、私たちPTA奨学会の役員やクラス役員の方々が積極的に参加していたら、教職員及び在校生との

卒業生に贈る言葉

教頭 永井 信一

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは長い時間をかけて努力を重ね、時に苦難を乗り越え、ついにこの日を迎えられました。皆さんの努力と成長を間近で見守ってきた者として、感無量です。卒業は一つの区切りであり、未来への扉を開く新たな始まりです。この輝かしい節目に、心からの祝福を贈ります。

さて、皆さんが本校に在学した令和五年度から令和七年度までの社会の動向を振り返りますと、激動の時代の真ただ中にあり、私たちが取り巻く環境は大きく変化しました。気候変動による異常気象や自然災害の頻発は、私たち一人ひとりにとって身近な問題となつていきます。未来を担う皆さんには、環境への意識や持続可能な社会の実現に向けた行動が求められています。

また、世界的に経済のデジタル化やAI技術の発展により、働き方や生活様式も大きく変わりつつあります。新しい技術は便利さをもたらす一方で、雇用やプライバシー等の問題も浮上しています。こうした変化の中で、自分の価値観や倫理観を持ち続けることの重

要性を忘れないでほしいと思います。令和六年度にはパリ五輪が開催されました。同五輪は、多様性や環境保護等をテーマに開催され、多くの人が希望を持ちました。このことは、未来を築くためには協力と多様性の受け入れが不可欠であることを教えてくれています。こうした社会の動きの中で、皆さんの未来も確実に変わっていきます。自分の夢を追い求めることを恐れず、変化を怖がらず、新しいことに挑戦し続けていくてください。失敗を恐れる必要はありません。むしろ、失敗から学び、自分を成長させることが大切です。最後に、今日という日を迎えることができたのも、ご家族や周囲の皆さんの支えがあったからこそです。そのことを決して忘れないでください。未来は決して平坦ではありませんが、皆さんならきっと乗り越えていけると信じています。皆さんのこれからの歩みが、輝かしいものでありますよう祈っています。



旅立ちの日に

第三学年主任 矢萩 裕司

三年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に對しまして、常に惜しみないご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。皆様のおかげをもちまして、無事にこの日を迎えることができました。本日に三年間、ありがとうございました。

高校の卒業というのは特別なものです。かく言う私自身も、高校の卒業はとりわけ思い深く、何十年もたった今でもその当時に鮮明に思い出すことができます。また、自分自身の人間形成やその後の人生に大きな影響を与えたと実感しています。その鮮明な記憶が、私が現在この職に就いている理由かもしれませ

今、卒業生の皆さんは人生の大きな岐路に立っています。四月から、二百七十六名それぞれが、それぞれの立場で、それぞれの場所で、新たな生活を始めることになりま

ら推薦を頂いた上で試験を受け、進路決定する生徒が多い水商生は、まぎれもなく「三年間継続して頑張り続けることと実績を積み上げてきた高校生たち」です。授業や学校行事を通じての学び、資格や検定の取得、部活動を通じて得たもの、かけがえのない友人、信のおける先生方との関わりから学んできたこと。自分が高校生活で積み上げてきたことを心に留め、自信を持ってこれからもあらゆる事に取り組んでください。そして、新しい生活でもこれまでと同様に、少しずつ日々積み重ねていくことで必ず道は開けてくるはず。年末に行われた水商祭で、音楽選択者の皆さんが素敵な合唱を聴かせてくれました。「だけど明日からは僕だけの正解をいざ 探しにゆくんだ また逢う日まで」これから皆さんは「喜びが溢れて止まらない夜の眠り方」や「悔しさで滲んだ心の傷の治し方」、「傷ついた友の励まし方」をはじめとしたこの世の中に数えきれないほどある、明確な答えの存在しない問いに対する答えをこれから的人生で探し続けていきます。卒業生の皆さん、改めて卒業おめでとう。そして「よい、はじめ」

3年間で学んだこと

生徒会長 三年三組 川崎 姫愛

今から三年前、社会は新型コロナウイルスの影響から徐々に回復し、日常を取り戻し始めた時期でした。制限が緩和され、行事や活動が少しずつ本来の形で行われるようになる中で、高校生活がスタートしました。当たり前のように友人と顔を合わせ、行事に参加し、学び合える毎日、決して当たり前ではないということを、私たちは自然と感じながら過ごしてきたように思います。

水戸商業高校での三年間は、実践的な学びに満ちた充実した毎日でした。簿記や情報処理、ビジネス基礎など、専門知識を多く学びました。特に検定試験に向けて努力を重ねた日々は、決して楽なものではありませんでした。毎日夜遅くまで学校に残り、友人と合格に向かって勉強し、お互いの合格を喜びあつたあの瞬間は忘れられません。

また、学校行事やクラス活動を通して、仲間と過ごす時間の大切さを深く実感しました。意見の違いから悩むこともありましたが、その度に話し合い、互いを理解しようとする中で、信頼関係を築くことができました。喜びも苦しさも共有できた仲間の存在は、私たちの高校生活をかけがえのないものにしてくれました。

生徒会長として過ごした一年間は、私にとって特に学びの多い時間でした。学校全体のことを考え、責任を持つて行動することの難しさや、リーダーとしての自覚を強く感じる場面が多くありました。自分の未熟さに悩むこともありましたが、生徒会役員の仲間や先生方、そして全校生徒の支えがあったからこそ、最後まで務め上げることができました。私たちが今日、この日を迎えることができたのは、先生方の熱心な指導のおかげです。一人ひとりに寄り添い、時に厳しく、時に温かく導いてくださいました。また、どんな時も私たちに信じ、支え続けてくれた保護者の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。これから私たちは、それぞれ異なる道へと進んでいきます。進学する人、就職する人、選んだ道は違っても、新しい環境の中で新たな挑戦が待っています。不安を感じることもありますが、この商業高校で培った知識や経験、そして仲間と過ごした日々が、きっと私たちの背中を押してくれるはずです。自分らしさを忘れず、前を向いて歩いていきたいと思います。

令和7年度の 進路状況

進路指導部

PTA奨学会の皆様には、日頃より本校の進路指導に温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度の進路状況ですが就職九十八名(36%)、進学百七十五名(63%)、計二百七十三名(99%)が進路を決定しております。それぞれの内定先は以下のとおりです。

(令和八年二月十八日現在)

【就職】

企業等 八十八名

- ・ 農業法人深作農園(有) Farmkuchen 一名
- ・ Fukusaku 一名
- ・ 茨城セキスイハイム(株)二名
- ・ (株)関電工 一名
- ・ 菅原建設株 一名
- ・ アイジー工業(株) 一名
- ・ Astemo(株) 佐和工場 四名
- ・ (株)ウミノ 一名
- ・ (株)AESシヤパン 一名
- ・ (株)MSteel 一名
- ・ 大川精螺工業(株) 水戸工場 一名
- ・ (株)菊池精器製作所 一名

- ・ (株)金陽社 一名
- ・ 高周波熱錬(株) 一名
- ・ (株)小松製作所茨城工場 一名
- ・ JX金属(株) 磯原工場 一名
- ・ (株)潤工社笠間オベレイションセンター 三名
- ・ 常磐パッケージ(株) 一名
- ・ (株)せき 一名
- ・ 桃栄金属工業(株)北関東工場 一名
- ・ 東京フード(株) 一名
- ・ (株)トンボ 岩間工場 一名
- ・ (株)ニコン 水戸製作所 一名
- ・ (株)日立インダストリアルプロダクツ 土浦事業所 一名
- ・ (株)日立製作所 二名
- ・ (株)日立ハイテク 那珂地区 五名
- ・ (株)フジクラハイオプト 石岡工場 一名
- ・ 紅忠黒田ラミネーション(株) 一名
- ・ 三菱重工(株)日立工場 一名
- ・ 東京電力パワーグリッド(株) 一名
- ・ 日本原子力発電(株) アルテンジャパン(株) 一名
- ・ 常陽コンピュータサービス(株) 二名
- ・ (株)日立ハイテクマニファクチャ&サービス 一名
- ・ (株)日比谷情報サービス 一名
- ・ 水戸ソフトエンジニアリング(株) 一名
- ・ 茨城交通(株) 一名
- ・ 東日本旅客鉄道(株) ロジステイードケミカル(株) 一名
- ・ ロジステイード東日本(株) 一名
- ・ アイリスオーヤマ(株)つくば 一名
- ・ 工場 一名
- ・ (株)茨城木材相互市場 一名
- ・ 茨城トヨペット(株) 一名
- ・ カレーハウスCOCO壱番屋(株) スカイスクレイパー 一名
- ・ (株)さんふらわあマリン&エージェンシー大洗港営業所 一名
- ・ (株)JR東日本サービスクリエーション 一名
- ・ 東部ガス(株) 茨城支社 一名
- ・ 東邦薬品(株) トヨタモビリティパーツ(株) 茨城支社 一名
- ・ プリヂェスタントアイヤソリューションズ(株)関東エリア水戸地区本部 一名
- ・ (株)ホンダモビリティ北関東 一名
- ・ (株)水戸京成百貨店 一名
- ・ (株)足利銀行 一名
- ・ 茨城県信用組合 二名
- ・ (株)常陽銀行 二名
- ・ (株)筑波銀行 一名
- ・ 水戸証券(株) 一名
- ・ 水戸信用金庫 三名
- ・ (株)トヨタレンタリース茨城 一名
- ・ 一般財団法人 茨城県建築センター 一名
- ・ 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 一名
- ・ 積水メディカル(株) 創薬支援センター 一名
- ・ (株)長寿荘グループ 一名
- ・ (株)東都観光企業総本社 一名
- ・ (株)東横イン水戸駅南口 一名
- ・ 水戸ホーリーホック 一名
- ・ 森ビルゴルフリゾート(株) 一名

【進学】

大学 百三十名

- ・ 茨城大学 二名
- ・ 福島大学 一名
- ・ 茨城キリスト教大学 十名
- ・ つくば国際大学 三名
- ・ 常磐大学 五名
- ・ 流通経済大学 三名
- ・ SBC東京医療大学 一名
- ・ 桜美林大学 一名
- ・ 神奈川大学 五名
- ・ 関東学院大学 二名
- ・ 近畿大学 一名
- ・ 國學院大学 一名
- ・ 国際医療福祉大学 二名
- ・ 国際武道大学 一名
- ・ 国士館大学 四名

公務員 十名

- ・ 関東信越国税局/税務職員 一名
- ・ 茨城県/一般事務 一名
- ・ 茨城県/警察事務 一名
- ・ 茨城県/警察官 三名
- ・ 水戸市/消防官 一名
- ・ つくば市/消防官 二名
- ・ 石岡市/消防官 一名
- ・ 静ヒルズカントリークラブ 一名
- ・ (株)恒人会りハビリティハート総合介護ケアセンター 一名
- ・ 一般財団法人 航空保安事業センター 一名
- ・ (株)JR東日本ステーションサービス 一名
- ・ (株)HIPUS 一名
- ・ (株)日立ビルシステム水戸事業所 一名
- ・ (株)日立マネジメントパートナー 一名

短期大学 二名

- ・ 常磐短期大学 二名

専門学校 四十三名

- ・ 茨城県立情報テクノロジ大学校 二名
- ・ 茨城県立中央看護専門学校 三名
- ・ 茨城歯科専門学校 三名
- ・ 茨城理容美容専門学校 二名

- ・ 駒澤大学 六名
- ・ 埼玉学園大学 一名
- ・ 城西国際大学 一名
- ・ 専修大学 五名
- ・ 高崎商科大学 一名
- ・ 拓殖大学 五名
- ・ 千葉商科大学 十七名
- ・ 中央大学 二名
- ・ 帝京大学 二名
- ・ 東京経済大学 一名
- ・ 東京工科大学 十名
- ・ 東京保健医療専門職大学 二名
- ・ 同志社大学 一名
- ・ 東洋大学 一名
- ・ 獨協大学 三名
- ・ 名古屋学院大学 二名
- ・ 新潟医療福祉大学 二名
- ・ 日本大学 七名
- ・ 日本体育大学 一名
- ・ 白鷺大学 一名
- ・ 東日本国際大学 一名
- ・ 法政大学 一名
- ・ 武蔵野大学 五名
- ・ 明治大学 五名
- ・ 明治学院大学 一名
- ・ 立命館大学 二名
- ・ 麗澤大学 一名
- ・ 大原ビジネス公務員専門学校 六名
- ・ 校水戸校 三名
- ・ 鯉淵学園農業栄養専門学校 一名
- ・ つくば栄養医療調理製菓専門学校 二名
- ・ つくばビジネスカレッジ専門学校 一名
- ・ 土浦協同病院附属看護専門学校 一名
- ・ 土浦こども情報ビジネス専門学校 一名
- ・ 中川学園調理技術専門学校 一名
- ・ 文化デザイン学院 一名
- ・ 水戸経理専門学校 二名
- ・ 水戸情報ITクリエイター専門学校 二名
- ・ 水戸日建工科専門学校 一名
- ・ 水戸ビューティカレッジ 一名
- ・ 水戸メディカルカレッジ 一名
- ・ KADOKAWAマンガアカデミー東京校 一名
- ・ 国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 一名
- ・ ジェイヘアメイク美容専門学校 一名
- ・ 資生堂美容技術専門学校 一名
- ・ 新東京歯科衛生士学校 一名
- ・ 東京ビューティーアート専門学校 一名
- ・ 日本外国語専門学校 六名
- ・ 日本工学院八王子専門学校 一名
- ・ バンタンデザイン研究所東京校 一名
- ・ 横浜中央看護専門学校 一名



沖縄修学旅行

令和7年
11月28日
～12月1日

第二学年では、11月28日から泊4日で沖縄に修学旅行に行ってきました。沖縄の自然・文化について見識を広めるとともに、戦争や平和について考えを深めることができました。また、友達との楽しい思い出をたくさん作る事ができました。

修学旅行の思い出

二年三組 比嘉 叶愛

私は修学旅行を通して、沖縄の自然と歴史に触れ、貴重な体験から多くを学ぶことができました。私は家族旅行で何度か沖縄を訪れたことがあります。今回は初めて友達と訪れ、とても新鮮で良い思い出になりました。

初めてマリン体験をし、ドラゴンボートでは、まるでジェットコースターに乗っているかのような感覚とスピードを体験し、楽しさと恐怖で声を嗄らすまで叫びました。グラスボートでは、船底から海底のイソギンチャクを覗くとクマノミの家族がいて、「二モの世界だ」とみんなで笑い合い、ほっこりしました。

また、平和祈念公園では沖縄戦について学び、資料を読んでいくなかで、改めて戦争の恐ろしさを感じ胸が痛くなりました。平和の礎には国籍を問わず戦没者の名前が刻まれています。戦没者の中には名が分からず「長女」「祖母」と刻まれたものもあり、教科書だけでは分からない戦争の悲惨さをより深く心に刻みました。

私は、平和な暮らしは当たり前ではないということが、歴史遺産を通して後世に受け継がれていくことは大切だと思いました。



修学旅行で感じたこと

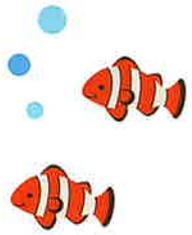
二年五組 野口 心花

私は今回の修学旅行が初めての沖縄だったので、いつか沖縄の海を直接見てみたいと思っていたことや、友達と飛行機に乗って遠出することからとても楽しかったです。

マリン体験では、沖縄の海は想像以上に綺麗でした。そして、ドラゴンボートの爽快感、落ちるか落ちないかのスリル感、シュノーケリングでクマノミなどを間近で見られた喜び、海水がとてもしよっぱいことなどがとても印象的でした。

また、2日目に行った平和祈念公園、3日目に行ったひめゆり平和祈念資料館では多くのことを学びました。両方の場所で当事者手記を読み、私と同じ世代である人たちが今では信じられないほどの経験をしていたことを知りました。今見ている場所は静かで落ち着いていて、景色は綺麗であるのに戦争が起こっていた。改めて平和のありがたさを感じました。

他にも、アメリカンビレッジや鍾乳洞、ウミカジテラスに行き、たくさん楽しむことができました。今回の経験を大切にしていきたいと思えます。沖縄、にふえ〜びる!!そして、また〜したい!!



プロティマシユヒルズ語学研修

一年生 1/26 ~ 1/28

英語漬けの三日間

一年六組 大越 茶子

ブリテイッシュヒルズは英国の街並みを再現した造りで、とても心惹かれる場所でした。授業では、ゲームやロールプレイを通して英語で伝える力を身につけることができました。最初は、自分の英語力で本当に言いたいことが伝わるのかと不安な気持ちもありました。しかし、間違いを恐れずに話すことを心掛けることで少しずつ自信ができました。また、外国人の先生方と直接会話することで、本場の発音

や表現を感じました。そして、スコーン作り体験では、説明を全て英語で聞きながら、友達と協力して調理を行いました。とても貴重な経験になりました。さらに、部屋では友達と普段より長く一緒に過ごすことで思い出に残る時間となりました。最後に、この英語漬けの三日間で得た経験を大切に、英語を使うことを恐れずに挑戦し続けたいと思います。日常生活でも積極的に英語に触れ、今後の学習にも生かしていきたいと思っています。



クラスマッチ結果

総合優勝	3年7組 (108pt)
総合2位	2年3組 (99pt)
総合3位	2年1組 (91pt)

* 球技種目 (学年別優勝)

競技名	男子			女子		
	3年	2年	1年	3年	2年	1年
バレーボール	7組	7組	1組	2組	2組	1組
バスケットボール	7組	7組	5組	6組	7組	6組
卓球	4組	3組	4組	7組	6組	2組
フットサル	4組	1組	4組			
ソフトテニス				3組	6組	7組
ドッジボール				2組	5組	3組

* 陸上・団体種目

競技名	1位	2位	3位
綱引き	3年7組	2年2組	2年1組
大縄跳び	2年3組	1年1組	3年7組
男女混合リレー	2年1組	2年7組	3年2組

クラスマッチ

令和7年 10月15日・16日

過程

クラスマッチ実行委員長 三年七組 中村 姫 「クラスマッチ」とは、勝ち負けを決めるだけの行事ではない。勝ち負けは、過程の先についてくるおまけ。いや、良い過程を築くための土台である。練習期間では、うまくいかないことやぶつかることもあった。しかし、それは「優勝」という目標に対して、本気になれたからこそだと思う。綱引きでは、作戦を練ったり、体育の時間をクラスの戦術体制をひたすら体に叩き込んだ。試合当日になると、どのクラスも試合前に陣を組み、真剣な眼差しで戦っていた。

勝

三年七組 杉山 凜花 去年、綱引きの準決勝で味わった悔しさが、7組の原動力でした。「今年こそは」という思いのもと、私たちのクラスマッチは準備期間から始

で、たくさんの方の応援が飛び交い、会場全体が一つになって盛り上がり、結果として私たちのクラスは総合優勝を果たした。結果として私たちに残っているのは、勝ちを目指して生きた努力や協力や協力の姿である。みんなが本気で考えた、練習し、支え合ったその過程こそが、このクラスマッチで一番素敵で、意味のある部分だったと思う。この経験は、これから先の生活やそれぞれの挑戦に、必ず活かされていくはずだ。

まっていた。体育の時間を全て注ぎ込み、綱引きの練習に励みました。ここまで本気になった理由の一つは、浅野先生の存在です。先生はいつも私たち以上の熱量で私たちに励まし、鼓舞してくれました。その思いに応えるように、7組はクラスマッチに向けて勢いをつけていきました。綱引きでは、男女ともに無敗の完全優勝。私たちはリベンジを果たすことができました。優勝を

決めた瞬間の浅野先生の眩しい笑顔は一生忘れません。その結果に満足することなく、そのままの勢いで迎えたクラスマッチ当日も、私たちは最後まで全力で戦いました。去年の悔しさから始まった挑戦は、総合優勝という形で実を結びました。この勝利は、仲間と支え合い、信じ合った7組全員でつかみ取ったものであり、この経験は結果以上に価値のある、大切な思い出です。



水商祭2025 結果

(各企画1位)

- * クラス販売
〈純利益部門〉 3年4組 51,843円 (たいやき)
〈売上高部門〉 3年4組 111,700円 (たいやき)
- * eスポーツ
3年3組 立原太喜 李 悠慎
- * カラオケ
3年6組 浅田順哉 「ヒロイン」
- * ステージ
1年7組 「shall we dance?」
2年7組 「うしおだ べいびーず」
3年7組 「懐かしのヒットソング」
- * 教室企画
3年5組 「5番出口」



最高の2日間

文化祭運営委員長

三年七組 青木 琴音

今年の文化祭は、予想以上に多くの方が足を運んでくださり、本当に嬉しかったです。校内はたくさんの人で賑わい、まさに「これぞ文化祭！」という熱気に包まれました。今回は、新しい取り組みにもたくさん挑戦した文化祭でした。初日のステージ発表では、どのクラスも工夫を凝らした演出で会場を盛り上げ、学校全体の一体感を感じました。

「協働」の大切さを実感

文化祭実行委員長

三年七組 猿田 琉斗

今年の文化祭は、例年より二日目の規模を縮小しての開催となりました。そのような状況の中、限られた時間の中でも、来場して下さる保護

者の方々と生徒の双方に楽しんでいただける文化祭を目指し、準備と運営に取り組みました。

運営委員会で出店した模擬店も、準備や運営は大変でしたが、仲間と声を掛け合いながら協力できたことは、かけがえのない経験です。忙しさの中でお客様や生徒のみなさんの笑顔を見ることができ、心から「楽しい！」と思える最高の思い出になりました。今年の文化祭が大成功を収めることができましたのは、生徒会や各委員会をはじめ、準備や運営に全力で取り組んでくれた全校生徒のみなさんのおかげです。本当に、ありがとうございました！



初日は、本校生徒のみのステージ発表でした。各クラスの個性を最大限に引き出す工夫を凝らし、三年生のクラスでは、担任、副担任の先生方も参加されるなど、会場は大きな盛り上がりを見せていました。二日目の一般公開は、規模を縮小したにもかかわらず、例年以上の活気あふれた一日となりました。各クラスの個性が色濃く表れ、来場された方々の明るい表情が、今でも鮮明に思い出されます。私はこの文化祭を通して、「協働」の大切さを実感しました。全員が一つの目標に向かって力を合わせる姿は、一人ひとりの音が重なり、一つの曲を奏でるオーケストラのようでした。その調和は、協働の思いがあつてこそ生まれたのです。



さった先生方、会場に足を運んでくださった皆様、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

